

研究課題「小児がんサバイバーにおける quality of life ならびに サルコペニア・神経心理学的合併症・心臓健康管理に関する WEB アンケート調査」に関する情報公開

0. 研究の対象

以下の条件に当てはまる方に研究参加をお願いしています。

・1990年1月1日から2017年12月31日までに小児がん（悪性新生物（ただし、良性脳腫瘍を含む））の診断を受けた方

- ・診断時18歳未満の方
- ・JCCG参加施設で診断・治療を受けた方
- ・本研究への参加の時点で16歳以上である方

・「わが国の小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関する大規模調査研究」へ参加されている方

- ・ご自身の病名を把握されている方

ただし、以下のいずれかの条件に当てはまる方は、研究にご参加いただくことができません。

- ・身体的・認知的理由によりWEB調査票への回答が困難な方
- ・WEB調査票に回答するための機器（スマートフォン、タブレット、パーソナルコンピュータ等）をお持ちでない、あるいは利用できる環境にない方

1. 研究の趣旨

（1）研究目的、意義と研究参加へのお願い

日本の小児がんの治療は向上し、多くの方が治癒し、その後の人生を送ることができるようになりました。小児がんの治療（抗がん剤治療、放射線治療、手術など）においては、治療を終えた後にも身体や心の状態に影響が生じる可能性があることがわかってきています。しかし、現在、日本では、小児がんの治療を終えた方々がどのような生活を過ごしているか、どのような困りごとを抱えているか、正確なことがわかっていません。

そこでこの研究では、1990年1月1日から2017年12月31日の間に小児がん（良性脳腫瘍を含む）の診断を受けた方の、現在の生活の状況や生活に関する満足度（quality of life; QOL）、筋力の低下や筋肉量の減少、疲れやすさ、気分、心臓健康管理の状況などの実態を知ることを目的としています。そのために、みなさんにWEB調査にご協力いただきたいと思っています。

また、この研究は、日本小児がん研究グループ（Japan Children's Cancer Group; JCCG）により実施される研究「わが国の小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関

する大規模調査研究」(みなさんが治療を受けたときのカルテ情報を全国の医療機関から集め、今後の小児がん医療に役立てる研究)にご協力いただいた方を対象としています。これは、みなさんが治療を受けたときのカルテ情報と、みなさんが入力してくださった生活の状況とを合わせて分析することで、どのような治療がその後の生活や身体、心の状態に影響を及ぼす可能性があるかを明らかにしたいと考えているからです。この研究によって、今後、日本の小児がんの治療や、治療が終わった後の患者さんの支援につながる情報が得られると考えています。

この研究は、名古屋大学大学院医学系研究科生命倫理審査委員会(以下、生命倫理審査委員会)の承認を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

(2) 研究参加の同意表明の任意性と、表明後の同意撤回の自由について

この研究に参加するかどうかは、あなたの自由な意思で決めてください。もし参加しなくても、病院での診療や治療において不利な扱いを受けることは一切ありません。一度参加すると決めた後でも、質問に回答したくないと感じたら、途中で回答をやめることができます。また、いつでも同意を取りやめること(同意の撤回)ができ、それまでに回答した内容を研究に使われないようにすることもできます(ただし、研究結果を発表した後では、発表した内容に含まれているあなたの情報だけを削除することはできません)。

「研究に参加してもよい」と思われましたら、WEB調査の画面に表示される「同意」のボタンを押してください。また、途中で参加をとりやめたい場合は、WEB調査の画面に表示される同意撤回フォームをご利用ください。なお、研究の最新情報についてはJCCGのホームページ上にある情報公開文書をご参照ください。

2. 研究計画の説明

研究題目	小児がんサバイバーにおける quality of life ならびにサルコペニア・神経心理学的合併症・心臓健康管理に関する WEB アンケート調査
研究機関名	特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ(JCCG)
研究代表者の職名・氏名	特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ(JCCG) 理事長・真部 淳
研究統括組織	研究代表者：特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ理事長 / 北海道大学大学院医学研究院小児科学 教授 真部 淳 研究統括組織：特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ(JCCG) 理事長 真部 淳 (北海道大学大学院医学研究院小児科学) 副理事長 田尻 達郎 (九州大学大学院医学研究院小児外科学) 副理事長 康 勝好 (埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科) 固形腫瘍分科会運営委員長 米田光宏 (国立成育医療研究セン

	<p>ター小児外科) 血液腫瘍分科会運営委員長 岡本康裕 (鹿児島大学小児科) アドバイザー 堀部敬三 (国立病院機構名古屋医療センター小児科)</p>
研究事務局	片岡 伸介 (名古屋大学医学部附属病院 小児科)
研究運営委員・作業部会 (WG) メンバー	<p>委員長：梅田 雄嗣 (京都大学大学院医学研究科発達小児科学) WG(ePRO, QOL)長：梅田 雄嗣 (京都大学大学院医学研究科発達小児科学) 塩田 曜子 (国立成育医療研究センター小児がんセンター) 福島 啓太郎 (獨協医科大学 小児科学) 松岡 真里 (三重大学大学院 医学系研究科看護学専攻) 坂口 大俊 (国立成育医療研究センター小児がんセンター) 松島 悟 (札幌北榆病院 小児思春期科) 早瀬 朋美 (神戸大学医学部附属病院緩和支援診療科) 藁谷 朋子 (福島県立医科大学附属病院小児腫瘍内科) 山森 彩子 (名古屋大学小児科) WG(サルコペニア)長：大園 秀一 (久留米大学小児科) 多賀 崇 (滋賀医科大学小児科) 慶野 大 (神奈川県立こども医療センター血液・腫瘍科) 中山 秀樹 (国立病院機構九州がんセンター小児・春期腫瘍科) 力石 健 (宮城県立こども病院血液腫瘍科) 岩田 慎太郎 (国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍・リハビリテーション科) 鈴木 完 (獨協医科大学小児外科) 岸本 健治 (兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科) 足洗 美穂 (聖路加国際病院小児科) 平野 直樹 (大分大学医学部小児科) WG(神経心理学的合併症)長：隈部 俊宏 (北里大学医学部脳神経外科) 原 純一 (大阪市立総合医療センター) 前林 勝也 (日本医科大学付属病院 放射線治療科) 高田 彰憲 (三重大学医学部附属病院放射線科) 廣瀬 綾菜 (神奈川県立こども医療センター 小児がんセンター血液腫瘍科) 伊井 憲子 (日本赤十字社 伊勢赤十字病院放射線治療科) 金森 政之 (東北大学大学院医学系研究科神経科学分野) 佐藤 聡美 (聖路加国際大学大学院公衆衛生学研究科) 田畑 阿美 (京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系専攻先端リハビリテーション科学コース先端作業療法学講座 脳機能リハビリテーション学分野) 荒川 芳輝 (京都大学大学院医学研究科脳神経外科学) 園田 順彦 (山形大学大学院医学系研究科脳神経外科学) WG(心臓健康管理)長：清谷 知賀子 (国立成育医療研究センター小児がんセンター) 檜山 英三 (広島大学自然科学研究支援開発センター) 西川 拓朗 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学分</p>

	野) 馬場 恵史 (新潟大学医歯学総合病院小児科) 下澤 克宜 (日本大学医学部附属板橋病院 小児科) 高砂 聡志 (国立国際医療研究センター病院小児科)
統計解析責任者	井上 永介 (昭和大学統括研究推進センター) 野間 久史 (情報・システム研究機構統計数理研究所) 橋本 大哉 (国立病院機構名古屋医療センター 生物統計研究室) 松林 潤 (滋賀医科大学医学部附属病院臨床研究開発センター)
データマネジメント責任者	加藤 実穂、瀧本 哲也 (国立成育医療研究センター 小児がんセンター 小児がんデータ管理科)
共同研究機関名・責任者の氏名	別添の共同研究機関一覧を参照 (ただし、共同研究機関や責任者が追加される可能性があります。)
対象とする疾患名	造血器腫瘍：(急性リンパ性白血病 (ALL)、急性骨髄性白血病 (AML)、慢性骨髄性白血病(CML)、骨髄異形成症候群/骨髄増殖性疾患(MDS/MPN)、非ホジキンリンパ腫、ホジキンリンパ腫、ランゲルハンス細胞組織球症 (LCH)、先天性免疫不全に伴うリンパ増殖性疾患 (LPD)、その他の造血器腫瘍)、固形腫瘍：(神経芽腫群腫瘍(神経節腫を除く)、網膜芽細胞腫、腎腫瘍、肝腫瘍、胚細胞腫瘍 (中枢性を除く、成熟奇形腫を除く)、ユーイング肉腫、横紋筋肉腫、骨肉腫、その他の骨腫瘍、その他の軟部腫瘍、その他の固形腫瘍)、脳・脊髄腫瘍：(星細胞系腫瘍、乏突起細胞系腫瘍、上衣系腫瘍、松果体実質腫瘍、脈絡叢腫瘍、髄芽腫、その他の胎児性腫瘍、その他の神経上皮性腫瘍、脳神経および脊髄神経腫瘍、髄膜腫、下垂体腺腫、頭蓋咽頭腫、胚細胞腫瘍、類皮腫・類表皮腫、嚢胞性病変、脊索腫・類骨肉腫、原発性頭蓋底部腫瘍 (脊索腫・軟骨肉腫以外・鼻腔咽頭部の直接浸潤を含む)、悪性リンパ腫、転移性脳腫瘍、その他の脳腫瘍、頭蓋底悪性腫瘍、頭蓋底良性腫瘍、その他の頭蓋骨腫瘍、眼窩内腫瘍、頭皮腫瘍、その他)
調査する全ての資料項目 (日常診療から得る情報も含む)	「わが国の小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関する大規模調査研究」に基づいて収集された臨床情報を二次利用します。 研究のために実施する調査・検査項目： 以下の項目について WEB アンケート調査を行います。 1) 健康関連 QOL 2) 主観的幸福度 3) 社会生活機能 4) 社会経済的状況 5) 筋力低下・筋肉減少症 (サルコペニア) 6) 社会的フレイル 7) 疲労 (倦怠感) 8) アパシー (やる気の低下) 9) 抑うつ 10) 心臓健康管理

	(ただし、生命倫理審査委員会の許可を得て、調査資料項目が追加される可能性があります。)
研究期間	愛媛大学医学部附属病院長承認日から 2026 年 3 月 31 日

(1) 研究目的・予測される結果

この研究は、小児がん（良性脳腫瘍を含む）の治療を受けた方の治療終了後の現在の生活の状況や QOL、筋力の低下や筋肉量の減少、疲れやすさ、気分、心臓健康管理の状況などについてお尋ねし、困っていることや今の様子を知ることが目的としています。小児がんの治療を経験したみなさん自身に協力していただくことで、困りごとを解決するために何が必要かを考えることができます。また、将来の小児がんの治療をより良くするために必要な情報を得ることができます。

また、この研究に参加することは、みなさんが毎日の生活を振り返り、困っていることに気づく機会になるかもしれません。

(2) 研究への参加をお願いする理由

以下の条件に当てはまる方に研究参加をお願いしています。

- ・ 1990 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までに小児がん（悪性新生物（ただし、良性脳腫瘍を含む））の診断を受けた方
- ・ 診断時 18 歳未満の方
- ・ JCCG 参加施設で診断・治療を受けた方
- ・ 本研究への参加の時点で 16 歳以上である方
- ・ 「わが国の小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関する大規模調査研究」へ参加されている方
- ・ ご自身の病名を把握されている方

ただし、以下のいずれかの条件に当てはまる方は、研究にご参加いただくことができません。

- ・ 身体的・認知的理由により WEB 調査票への回答が困難な方
- ・ WEB 調査票に回答するための機器（スマートフォン、タブレット、パーソナルコンピュータ等）をお持ちでない、あるいは利用できる環境にない方

(3) 研究方法

【研究の手順】

研究の手順は以下の通りです。

・WEB 調査票へのアクセス

担当医があなたにお渡しするチラシに、WEB 調査票への QR コードが掲載されています。この QR コードを読み取るか、URL を入力して、WEB 調査票にアクセスしてください。

・WEB 調査票への回答

以下の 5 つの WEB 調査票があります。最初に 1) 「健康関連 QOL の調査」を回答していただきたいと思います。その後は、どのような順番で回答していただいても構いません。

- 1) 健康関連 QOL の調査
- 2) 幸福度・社会生活機能調査
- 3) サルコペニアのスクリーニング調査
- 4) 疲労・やる気・うつ傾向調査
- 5) 心臓健康管理調査

・回答の際の注意点

5 つの WEB 調査票はそれぞれ、10 分～20 分程度で入力可能な量にしてあります（所要時間もチラシに掲載されています）。一度に全ての WEB 調査票に答える必要はありませんので、ご自身のペースで回答してください。

【解析方法】

あなたの WEB 回答のデータを、あなたが治療を受けたときからのカルテ情報（「わが国の小児がんサバイバーの健康・社会生活状況の実態解明に関する大規模調査研究」に基づいて収集されるもの）と結び付けて、統計学的に解析します。

【データの保管方法】

あなたの WEB 回答のデータは、国立成育医療研究センター小児がんセンター小児がんデータ管理科にて厳重に保管されます。このデータは、あなた個人を特定できる情報（氏名など）を含んでいません。

【将来の研究でのデータの利用】

あなたの WEB 回答のデータを、今後の小児がん医療の向上を目的とした、現時点では特定されていない将来の研究のために用いる可能性があります。このようにデータを将来の研究で利用する場合は、その研究について改めて生命倫理審査委員会に申請し、承認を受けた上で、利用することとします。

（4）研究終了後における研究対象者への対応

あなたのこの研究への参加は、WEB 調査票への回答までとなります。回答が終わった後も、これまで通りの診療が行われます。あなたの WEB 回答の内容が、あなたの担当医に伝わることはありません。

なお、この研究の調査期間（WEB 調査票に回答できる期間）は、2024年1月31日までです。

3. 研究対象者にもたらされる利益及び不利益（起こり得る危険・不快な状態）

この研究に参加しても、あなた自身の直接の利益となることはありませんが、WEB 調査票に回答するために毎日を振り返ることで、生活の中で困っていることに気づくことがあるかもしれません。そのような場合は、担当医にぜひご相談ください。

WEB 回答をすることによる健康上の不利益はないと考えていますが、回答に時間がかかることによる疲れや、プライベートな内容に回答いただくことによって負担を感じることもあるかもしれません。担当医があなたにお渡しするチラシに、それぞれの調査票の回答にかかる時間を記載していますので、ご自身のペースでご回答ください。また、答えたくない質問には回答しなくても問題ありません。

WEB 回答をすることで、その内容が外部に漏洩する危険が生じますが、情報漏洩対策を徹底してその危険性を最小限にします。

この研究に参加することに対する謝礼はありません。

4. 研究に参加しなかった場合の対応（他の治療法の有無やその内容）

この研究に参加しなくても、あなたの通院やこれからの診療に影響はありませんので、ご安心ください。あなたがこの研究に参加したか参加しないかは、担当医には通知されません。

5. 個人情報の保護

あなたの WEB 回答のデータは、国立成育医療研究センター小児がんセンター小児がんデータ管理科にて厳重に保管されます。このデータは、あなた個人を特定できる情報（氏名など）を含んでいません。またデータ解析のために、研究組織に所属する研究者がデータを扱いますが、その際に WEB 回答のデータが第三者に漏れることのないよう、細心の注意を払います。

なお、QOL 調査の一部で外部企業（Qualitest 株式会社）のサイトを利用しますが、WEB 回答データの漏洩が起こらないよう、適切な措置をとります。

また研究成果を公表する際に、あなた個人を特定できる情報（氏名など）を公表することはありません。

6. 研究情報の開示

この研究の実施計画の詳細を、他の研究対象者等の個人情報や研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、ご覧いただくことができます。ご希望の方は、問い合わせフォーム (<http://jccg.jp/ccs-res/eprol/>) にてご連絡ください。

あなたの WEB 回答の解析結果を、あなたに直接お教えすることはできません。WEB 回答を終えて、生活の中で困っていることに気づいた場合は、担当医にご相談ください。

7. 研究情報の公開方法、また研究結果の公表

この研究の成果は、がん関連の学会や学術誌、JCCG のホームページ、市民公開講座などで公表される予定です。このとき、あなた個人を特定できる情報（氏名など）を公表することはありません。

8. 研究から生ずる知的財産権について

この研究の結果、特許等の知的財産を生み出した場合は、その知的財産権は研究統括組織（JCCG）に帰属します。研究参加者であるあなたや、あなたの保護者には知的財産権がありませんのでご理解ください。

9. 研究に利用した試料、情報の保管・廃棄方法について

あなたの WEB 回答のデータは、国立成育医療研究センター小児がんセンター小児がんデータ管理科にて厳重に保管されます。このデータは、あなた個人を特定できる情報（氏名など）を含んでいません。またデータ解析のために、この研究に関わる研究者がデータを扱いますが、その際には、WEB 回答のデータが第三者に漏れることのないよう、細心の注意を払います。

情報は、研究終了時にデータセンターより研究代表医師に提出され、本研究終了 10 年間、もしくは研究結果を最後に公表した日から 3 年間のいずれかまで適切に保管します。保管期間終了後に、同意書はシュレッダーによって裁断したうえで破棄し、電子データのうち個人を特定できるすべての情報は破棄します。ただし、電子データのうち個人を特定できる情報を削除した部分については、長期的に保存し結果の公表に役立てます。

10. 研究用の検査・治療の費用について

この研究では、インターネットに接続したパーソナルコンピュータやスマートフォンを用いて WEB 調査票に回答していただきます。そのためのインターネット接続料金につい

では、申し訳ありませんが、あなた（あるいはインターネット接続契約をしている方）にご負担いただきます。

1.1. 有害事象・健康被害発生時の対応等

この研究では、パーソナルコンピュータやスマートフォンで WEB 調査に回答しますので、それによって有害事象や健康被害が発生することはないと考えています。

1.2. 研究資金・利益相反

この研究は、日本医療研究開発機構(AMED)革新的がん医療実用化研究事業の8課題（「小児急性骨髄性白血病 (de novo AML) に対する標準的治療法の確立」(研究開発代表者：足立壯一)、「小児および AYA 世代のランゲルハンス細胞組織球症 LCH に対するシタラビン/ビンクリスチンを中心とした晩期合併症阻止を目指した新規治療法の開発と長期フォローアップ研究」(研究開発代表者：塩田曜子)、「小児から AYA 世代胚細胞腫瘍の治療毒性低減と miRNA 発現の生物学的特性解明を目指した国際共同臨床試験」(研究開発代表者：黒田達夫)、「ダウン症合併骨髄性白血病に対する標準的治療法の確立」(研究開発代表者：多賀 崇)、「小児急性リンパ性白血病に対する標準的治療法の確立：フォローアップ課題」(研究開発代表者：真部 淳)、「小児および AYA 世代の横紋筋肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発」(研究開発代表者：細井 創)、「小児特有の脳腫瘍に対する標準治療確立のための全国多施設共同研究」(研究開発代表者：原 純一)、「小児胎児性固形がんに対する標準的治療法開発」(研究開発代表者：檜山英三))の課題間連携プロジェクトとして実施されます。国からの公的資金以外に、この研究では企業等からの資金を受けておらず、開示すべき利益相反はありません。

1.3. 同意取得時には特定できない研究

あなたの WEB 回答のデータを、今後の小児がん医療の向上を目的とした、現時点では特定されていない将来の研究のために用いる可能性があります。このようにデータを将来の研究で利用する場合は、その研究について改めて生命倫理審査委員会に申請し、承認を受けた上で、利用することとします。

1.4. 研究結果を他の機関へ提供する可能性について

個人情報の取扱い、提供先の機関名、提供先における利用目的が妥当であること等について生命倫理審査委員会で審査した上で、本研究の結果を他の機関へ提供する可能性があります。

15. 問い合わせ・苦情の受付先

○問い合わせ先

【問い合わせフォーム】

<http://jccg.jp/ccs-res/eipro/>

【研究代表者（研究全体の責任者）の連絡先】

日本小児がん研究グループ (JCCG) / 北海道大学大学院医学研究院小児科学 教授・真部 淳

住所 〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

直通電話番号 011-706-5954 FAX 番号 011-706-7898

または

【研究事務局の連絡先】

名古屋大学医学部附属病院小児科

病院助教・片岡伸介

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65番地

電話番号 052-744-2294

※ 研究内容やそれに伴う疑問や不安に関しては、上記の問い合わせ先にご相談ください。

○本院の問い合わせ

愛媛大学医学部附属病院 小児科 森谷 京子：(089-960-5320)

2023年8月9日現在 共同研究機関一覧（赤字が変更のあった研究責任者）

		施設名	研究責任者	所属
1	103	札幌医科大学附属病院	山本 雅樹	小児科 講師
2	104	北海道立子ども総合医療・療育センター	五十嵐 敬太	小児血液腫瘍内科医長
3	106	札幌北榆病院	小林 良二	副院長
4	107	北海道大学病院	長 祐子	小児科 助教
5	111	旭川医科大学病院	更科岳大	腫瘍センター 講師
6	202	弘前大学医学部附属病院	工藤 耕	小児科 助教
7	208	中通総合病院	平山雅士	小児科 統括科長
8	209	秋田大学医学部附属病院	矢野道広	小児科 講師
9	210	岩手医科大学附属病院	遠藤 幹也	小児科 准教授
10	211	岩手県立中部病院	越前屋竹寅	小児科 第1科長
11	216	福島県立医科大学附属病院	佐野 秀樹	小児腫瘍内科 教授/部長
12	217	東北大学病院	笹原洋二	小児病態学・准教授
13	218	宮城県立こども病院	佐藤篤	宮城県立こども病院血液腫瘍科・科長
14	220	山形大学医学部附属病院	三井哲夫	小児科 教授
15	301	茨城県立こども病院	加藤啓輔	小児科部長
16	303	筑波大学附属病院	福島紘子	小児科講師
17	304	横浜市立大学附属病院	柴 徳生	小児科 准教授
18	306	済生会横浜市南部病院	田中 文子	小児科主任部長
19	308	北里大学病院	隈部 俊宏	脳神経外科 主任教授
20	309	東海大学医学部附属病院	山本将平	小児科准教授
21	311	神奈川県立こども医療センター	岩崎 史記	血液・腫瘍科 医長
22	315	群馬県立小児医療センター	河崎 裕英	血液腫瘍科 医療局長
23	316	群馬大学医学部附属病院	奥野はるな	小児科 助教
24	319	埼玉医科大学総合医療センター	森脇 浩一	小児科教授
25	320	埼玉県立小児医療センター	康 勝好	血液・腫瘍科 科長
26	322	防衛医科大学校病院	今井 耕輔	小児科 教授
27	326	日本医科大学千葉北総病院	浅野 健	小児科 教授
28	329	千葉大学医学部附属病院	菱木知郎	小児外科・教授
29	330	千葉県こども病院	落合 秀匡	血液・腫瘍科 部長
30	333	東京医科大学病院	林 豊	消化器外科・小児外科 准教授
31	334	国立国際医療研究センター病院	望月慎史	小児科 小児科第一医長
32	335	日本大学医学部附属板橋病院	上原 秀一郎	小児外科・主任教授
33	336	武蔵野赤十字病院	長澤 正之	小児科・部長

34	337	帝京大学医学部附属病院	樋渡光輝	小児科学講座 講師
35	338	東京医科歯科大学医学部附属病院	磯田健志	小児科 講師
36	340	東京都立小児総合医療センター	湯坐 有希	血液・腫瘍科 部長
37	341	東京慈恵会医科大学附属病院	秋山政晴	小児科准教授
38	342	日本医科大学付属病院	植田高弘	小児科准教授
39	345	東京大学医学部附属病院	加藤元博	小児科教授
40	347	慶應義塾大学病院	嶋田 博之	小児科・専任講師
41	349	東邦大学医療センター大森病院	高橋 浩之	小児科臨床教授
42	351	順天堂大学医学部附属順天堂医院	藤村 純也	小児科 准教授
43	353	国立成育医療研究センター	松本 公一	小児がんセンター センター長
44	354	聖路加国際病院	長谷川 大輔	小児科 医長
45	355	杏林大学医学部付属病院	吉野 浩	小児科・臨床教授
46	359	獨協医科大学病院	佐藤雄也	小児科准教授
47	360	自治医科大学附属病院	嶋田 明	小児科 教授
48	361	信州大学医学部附属病院	中沢洋三	小児医学教室 教授
49	362	長野県立こども病院	坂下 一夫	血液腫瘍科 部長
50	363	新潟大学医歯学総合病院	今村 勝	小児科・講師
51	364	新潟県立がんセンター新潟病院	小川淳	小児科 部長
52	365	山梨大学医学部附属病院	犬飼岳史	小児科・教授
53	367	埼玉医科大学国際医療センター	田中竜平	小児腫瘍科 教授
54	374	獨協医科大学埼玉医療センター	土岡 丘	小児疾患外科治療センター教授
55	379	国立がん研究センター中央病院	小川 千登世	小児腫瘍科 科長
56	402	藤田医科大学病院	田中 真己人	小児科学・講師
57	403	愛知医科大学病院	堀 壽成	小児科 准教授
58	405	国立病院機構名古屋医療センター	前田尚子	小児科医長
59	409	愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院	宮島雄二	小児科小児医療センター長
60	411	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	濱 麻人	小児科 部長
61	412	名古屋大学医学部附属病院	高橋義行	小児科学・教授
62	414	名古屋市立大学病院	亀井 美智	小児科 助教
63	420	金沢医科大学病院	岡田 直樹	小児科 助教
64	421	岐阜市民病院	篠田邦大	小児科 部長
65	423	岐阜大学医学部附属病院	小関 道夫	小児科 臨床准教授
66	425	浜松医科大学医学部附属病院	坂口公祥	医学部附属病院小児科・講師
67	427	静岡県立こども病院	渡邊 健一郎	血液腫瘍科 科長

68	430	聖隷浜松病院	松林正	小児科 顧問
69	431	静岡県立静岡がんセンター	石田 裕二	小児科 部長
70	435	福井大学医学部附属病院	大嶋 勇成	小児科 教授
71	438	三重大学医学部附属病院	平山 雅浩	小児科 教授
72	504	大阪公立大学医学部附属病院	時政定雄	発達小児医学 准教授
73	505	近畿大学病院	坂田 尚己	小児科・准教授
74	508	大阪母子医療センター	佐藤 真穂	血液・腫瘍科 副部長
75	510	大阪大学医学部附属病院	宮村 能子	小児科・講師
76	515	公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院	三上 真充	小児科血液腫瘍部門副部長
77	516	大阪市立総合医療センター	藤崎 弘之	小児血液腫瘍科部長
78	517	大阪赤十字病院	藤野 寿典	小児科 部長
79	524	京都桂病院	若園 吉裕	小児科 院長
80	525	京都大学医学部附属病院	滝田 順子	小児科 教授
81	527	京都市立病院	石田宏之	小児科 部長
82	529	舞鶴医療センター	岡本 賢治	小児科 医師
83	530	京都府立医科大学附属病院	家原知子	小児科 教授
84	532	滋賀医科大学附属病院	多賀 崇	小児科 准教授
85	535	奈良県総合医療センター 近畿大学奈良病院	米倉 竹夫	小児外科・部長
86	537	奈良県立医科大学附属病院	石原 卓	小児科・講師
87	538	神戸大学医学部附属病院	山本 暢之	小児科・講師
88	543	兵庫県立こども病院	長谷川大一郎	血液・腫瘍内科 科長
89	544	兵庫医科大学病院	大植 孝治	小児外科 教授
90	547	日本赤十字社和歌山医療センター	深尾 大輔	日本赤十字社和歌山医療センター 小児科・副部長
91	548	和歌山県立医科大学医学部附属病院	神波 信次	小児科 講師
92	593	兵庫県立尼崎総合医療センター	宇佐美 郁哉	小児血液・腫瘍内科 科長
93	601	愛媛県立中央病院	石田也寸志	小児医療センター長
94	602	愛媛大学医学部附属病院	江口真理子	小児科 教授
95	603	松山赤十字病院	河上 早苗	小児科第4部長
96	604	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	中原 康雄	小児外科医長
97	605	岡山大学病院	鷺尾佳奈	小児科 助教
98	610	倉敷中央病院	納富 誠司郎	小児科 部長
99	611	四国こどもとおとなの医療センター	今井 剛	小児血液・腫瘍内科 医長

100	613	高知医療センター	西内律雄	総合周産期母子医療センター長 小児科
101	615	高知大学医学部附属病院	久川浩章	小児科准教授
102	617	島根大学医学部附属病院	竹谷 健	小児科 教授
103	619	徳島大学病院	岡村 和美	小児科 助教
104	620	鳥取大学医学部附属病院	奥野 啓介	小児科 助教
105	622	広島大学病院	岡田賢	小児科 教授
106	624	広島赤十字・原爆病院	藤田 直人	小児科部長
107	625	山口大学医学部附属病院	深野 玲司	小児科 准教授
108	703	大分大学医学部附属病院	末延聡一	大分こども急性救急疾患学部門医療・研究事業（小児科）教授
109	705	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	屋宜 孟	小児血液・腫瘍内科 医長
110	707	鹿児島大学病院	西川 拓朗	小児科 准教授
111	709	熊本大学病院	阿南 正	小児科 助教
112	711	佐賀大学医学部附属病院	西 眞範	小児科 助教
113	714	北九州市立八幡病院	安井 昌博	小児血液・腫瘍内科 主任部長
114	715	久留米大学病院	大園 秀一	小児科 准教授
115	716	産業医科大学病院	本田 裕子	小児科学 講師
116	717	九州大学病院	古賀 友紀	小児科 准教授
117	718	国立病院機構 九州がんセンター	中山 秀樹	小児・思春期腫瘍科 医長
118	721	宮崎大学医学部附属病院	盛武 浩	小児科 教授
119	862	埼玉県立がんセンター	川村眞智子	臨床検査科 科長兼診療部長／血液内科 副部長
120	869	さいたま市立病院	一色恭平	小児科 医長
121	910	大阪国際がんセンター	橋井佳子	小児科 主任部長
122		特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ(JCCG)	真部淳	理事長